

第 75 回東北大学祭において模擬講義を行いました (2023/10/28)

テーマ：関東大震災、災害と都市・都市復興、東北大学祭、模擬講義
会場：川内北キャンパス (仙台市)

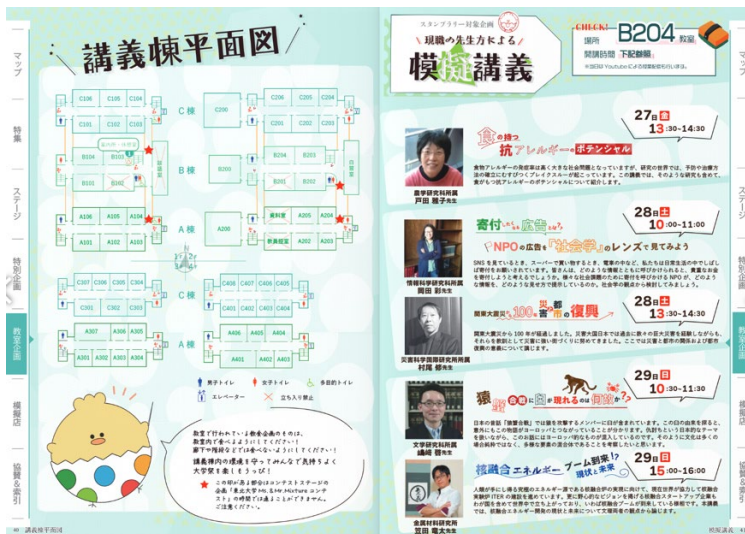
2023年10月27日(金)～29日(日)の3日間にわたり、東北大学・川内北キャンパスを主会場として、東北大学祭が開催されました。今年のテーマは「、されどソラの蒼さを知る。」学生たちの日頃の課外活動の成果が作品展示等で披露され、模擬店や野外ステージの開催も行われました。4年ぶりに完全対面での開催が無事成功し、学生や市民など3万人以上の来場者で賑わいました。

当研究所の村尾修教授(国際防災戦略研究分野)は、2日目となる10月28日に、「関東大震災から100年：災害と都市の復興」と題し模擬講義を行いました。1923年の発生から100年が経過した関東大震災が首都圏にどのような影響を与え、そして首都圏はどのように拡がり復興を遂げてきたか、また災害大国である日本が経験してきた数々の巨大災害を教訓としてどのように災害に強い街づくりが行われてきたか、世界の事例も交えながら、災害と都市の関係および都市復興の意義について講じました。

また村尾修教授はインタビューを通じ、東北大学で学ぶ意義と、今後の国際化に向けて自己実現をしていくことや夢を持つことの大切さについても語り、学生にエールを送りました。



講義の様子



東北大学祭 公式パンフレット

文責：村尾修 (国際防災戦略研究分野)